

高崎観光協会 会報

縁起のいいまち 高崎

夏号
Summer
VOL.131

2015

シーズン到来
くだもの街道
150歳の梨樹に出会う

はるな



くだもの街道で150歳の梨樹に出会う

果物にまつわるストーリー



榛名山の裾野に広がる高崎市の里見地区は、7月上旬からブルーベリーから始まり、桃、プラム、そして8月上旬からは「新水^{しんすい}」を筆頭に「里見梨」の様々な品種が順番に収穫期を迎える。「くだもの街道」と呼ばれる国道406号を中心に沿道には直売所が軒を連ね一年で最も活気づく。観光農園での果物狩りもおすすめだ。

この地域では、丹精込めたみずみずしい果物はもちろん、ジェラートやジュレ、ジャムなど、産地ならではの果物をふんだんに使ったスイーツも味わえる。

悴田梨園 悴田俊司さん
高崎市下里見町 1153 電話：027-343-5825
■営業時間 9:00~17:00



俊司さんが新しく広げた果樹園は、平棚の高さが従来のものより少し高い。作業をしやすいように自分の背丈に合せたため。樹齢10年ほどの梨の若木が並びエネルギーに満ちている。

※この地域の詳しい地図は、高崎観光協会のホームページでご覧になれます。
<http://www.takasaki-kankoukyoukai.or.jp/>



榛名湖・榛名神社へ向かう観光バスをこの地域で初めて受け入れた悴田梨園は、観光農園のはしり。



平棚の下を、行く手をはばまれ大蛇の如く這うように伸びる枝と、周囲の梨の木よりひと回り太い幹。樹齢およそ150年。明治元年に持ち込まれた梨の苗木のうちの一本だろうか。今や現役を引退し「悴田梨園」のシンボルツリーとなっている。

赤穂^{あほほ}という種類で、実の軸が鶴の首のように長いことから「ツル」と呼ばれる。長寿の木と鶴にあやかり、8月下旬から9月上旬に収穫できる実は「長寿の梨」として、欲しい人にプレゼントされる。

母親と果樹園を切り盛りする悴田俊司さんは、梨の実に袋がけをする有袋栽培や殺菌効果のある微酸性電解水を利用することで減農薬に努めている。冬場の追肥や剪定作

業、春の受粉作業。1つの花芽に5つほどの実がついたら1つを残して摘み取る摘果や袋掛け作業など、最高の収穫をめざし手間を惜しまず汗をかく。

生産者の想いやこだわりに耳を傾けながら、一番の食べごろを迎えた梨をほおばると、口いっぱいにみずみずしい爽やかな甘さが広がる。おいしさは、格別だ。

幸水や二十世紀が同じ木になる不思議

梨園に足を踏み入れて初めて知った驚愕の事実。それは、一本の梨の木に複数の品種の実がなっていることだ。「力のある原種の台木に、作りたい品種の穂木を接いでいきます。果実や野菜、花などは長い年月の間に品種改良が進み、遺伝的に固定されていないものが多いため、植物体の一部から再生させるという栽培方法をとっています」と聞き、思いがけずサイエンスの扉が開いて好奇心で胸が躍った。

現在、悴田梨園では30種前後の梨を栽培しており、5、6種類の収穫期が重なる秋には食べ比べも楽しめる。

『南総里見八犬伝』のモデル里見氏発祥の地

赤城山、妙義山と並ぶ上毛三山の一つ、榛名山。その裾野に広がる里見の郷は、あの滝沢馬琴の伝奇小説『南総里見八犬伝』のモデルになった里見氏発祥の地でもある。家系図には歴史に名高い新田義貞や茶聖・千利休も登場し、歴史好きには興味深い地域といえる。

里見氏の流れをくむむとり、さとみ果樹園の里見宣義さんは、「元旦の朝、周辺の4軒の里見家が共同で祀る屋敷神様に詣でた後、初代里見義俊の菩提寺である光明寺さんに参拝するのが恒例となっています」と、古くから連綿と続く風習について話してくれた。

悴田梨園では、さとみ果樹園から二人の女性が嫁いできた話や、俊司さんが6代目になるという話も当たり前のように日常会話に織り込まれ、ゆうゆうとした時の流れの中で、大地にしっかりと根をおろした暮らしが感じられる。

また、「茶聖利休居士太祖之塋域」の碑が立つ光明寺では、裏千家家元による献茶会が催された。千利休のルーツをたどると里見義俊の子の義清に行きつくという。光明寺は今も精神的な拠りどころとして、多くの檀家さんが参拝に訪れている。



光明寺

くだもの街道スイーツ巡り



旬のおいしさたっぷり
みんな大好き自家製ジェラート

山木農園 Albero. (アルペロ.)

梨を中心に洋梨、プラム、桃、ネクタリン、ブルーベリーなどを栽培する「山木農園」が営むジェラートショップ&カフェ。自家産の果実や野菜をはじめ旬の食材を加水分なしの果汁果肉 100% で仕上げる自家製ジェラートが常時 20 種、店頭に並ぶ。レパートリーは 400 種以上。素材の味を活かしたジェラートには一口目から驚きと感動があり、それがやみつきになる。遠方から足繁く通うファンが多いこともうなずける。

ジェラートに添えられる薄焼きクッキーのチュイール(ゴマ味・アーモンド味)は、手作りのため限定 200 枚。サクサクとした食感でジェラートを引き立てる。

人が集いつながる場所であることがアルペロ. のコンセプト。手作り雑貨やこだわりのフード類など個性的な出店者が集まる「アルペロ. マルシェ」(隔月第 4 日曜)も開催する。

山木農園 Albero. (アルペロ.)

高崎市下里見町 1701-1 電話: 027-340-1235

■営業時間 10:00~19:00

■不定休

フレッシュなもぎたて果実のみずみずしさはもちろん、果実のおいしさがギュッとつまった手作りスイーツも魅力的。たっぷりの日光とそよぐ風、豊かな自然を感じながら、里見の郷のおいしいものをいただけるスポットをご紹介します！
くだもの街道ならではのスイーツを召し上がれ。



豊富にとれた完熟果物はジャムになる。写真は「梅とプラムとアカシア蜂蜜のジャム」



ジェラート プチ 3 種盛り 330 円

ランチ・パニーニは土日月限定 (11 時~15 時 670 円)。香ばしく焼き上げたパンにたっぷりの野菜やアボカドをサンド。

梨ソーダ (280 円) は山木農園の二十世紀梨のみを使い、梨本来の香りと甘み、酸味が味わえるオーナーの自信作。



こだわり雅味・ちゃめつけ卵・もちはだ卵と、種類もいろいろ新鮮な卵が並ぶ。シュークリーム (135 円)、プリン (175 円)、バウムクーヘン (1,030 円) などのスイーツは店舗で手作り。卵を贅沢に使用した濃厚な味わいで大人気。



自宅だった養蚕農家をリノベーションした店舗。

卵屋さんのこだわりの卵を ナマで、お菓子で、召し上がれ たまご市場「卵太郎」

“よりおいしく健康に配慮した安全な卵” づくりを実践する卵農場「三喜鶏園」。緑豊かな榛名山麓で、一年を通して 24~25℃ の快適環境のもと、良質な餌と地下水で鶏を飼育する。そこで産まれた卵は、市場に出荷される一方、直営店のたまご市場「卵太郎」で販売されている。産みたて新鮮卵を目当てに行列ができることも。

通常の卵よりビタミン E が約 30 倍、ビタミン D が約 4.5 倍の栄養豊富なこだわり卵や、黄身の色が濃いちょっと贅沢な紅卵などプレミアムな卵が人気。

そうした卵が通常のレシピの 2 倍は使われているという自家製スイーツは、懐かしいお母さんの手作りおやつの味わい。シュークリームやロールケーキ、バウムクーヘン、プリン、カステラなど、売り切れ続出の商品もある。

三喜鶏園直営店

たまご市場「卵太郎」

高崎市下里見町 1358 電話: 027-343-3884

■営業時間 10:00~18:00

■無休





完熟になるまで育った桃・ソルダム・プラムの王様の貴陽・ブルーベリーが入った里見フルーツジュレ (300円)。その他にジェラート (桃・プラム・ブルーベリー・300円)、フルーツかき氷 (梅・ブルーベリー・プラム・桃・500円) ブルーベリージャム (小540円・大1,080円) など。



緑の中のログハウスで 完熟の自家産果物いっぱいデザート 富久樹園 fukujuen cafe

榛名山の裾野に広がる里見連山。その最東端、標高 323m の天神山の麓にあるログハウスが、富久樹園カフェ。木立に囲まれ涼やかな風が通り抜けるデッキからは、赤城山や市街地が一望できる。

くだもの街道 (R406 号) 沿線に直売所を構え、桃・プラム・梨などの果物を販売する果物農家「富久樹園」が、期間限定 (7 月～9 月) でオープンし、完熟した採れたてのフルーツをふんだんに使ったデザートを提供する。

富久樹園 fukujuen cafe

高崎市下里見 2332

電話：027-343-2706・090-2750-8626

■営業期間 7 月～9 月

■営業時間 10:00～17:00

■不定休 (ご来店の際はお問い合わせください)



人気企画の「ブルーベリー三昧」

摘みたてのブルーベリーでジャムとロールケーキ作りが楽しめる。まず材料のベリーを摘み取り、カフェのレシピでジャムづくり。ケーキはカフェで焼いておくスポンジに、ジャムと生クリームを塗り、ベリーを散らして巻いて出来上がり。ジャムのラベルに製造者名も入れられるので、特別なお土産としても最適だ。

※「ブルーベリー三昧」は要予約

費用：一人の費用は 3,000 円

所要時間：2～3 時間程度

※ブルーベリー狩りのみは 1 キロ 2,000 円

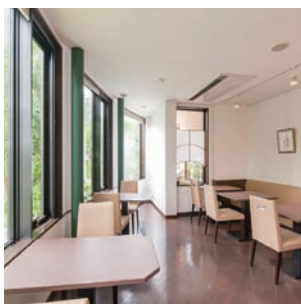
クルマで
もう 30 分程

幽玄の杜に包まれる榛名神社へ GO!!

里見の郷から少し足を伸ばしてほしいのが榛名神社。1400 余年前に創建された古社で、切り立つ巨岩や奇岩と調和し荘厳な雰囲気醸し出す本殿や拝殿に圧倒される。神秘と清涼感を感じさせる幽玄の杜に誰もが惹き込まれる。



神社の門前の社家町では、榛名産の地粉を使い、榛名の湧水で打った「門前そば」が食べられる。



清々しい緑色をした まろやかな味わいの冷茶はいかが 浜名園 茶茶テラス

国道 406 号線沿いにある、カフェや茶室を併設するお茶専門店。本物へのこだわりをもって 40 年に及び知識やノウハウを蓄積してきた。本場静岡の生産農家と協力し、土づくりから摘採まで徹底管理し大切に育てられた茶葉を使用。熟練の茶師による独自の火入れ仕上げをほどこす。茶葉の香味、うまみを最大限に引き出すこだわりの日本茶は、根強いファンも多い。

カフェでは、お茶専門店ならではのおいしい煎茶や抹茶など日本茶が味わえる。

近年、緑茶に含まれるカテキンなどの有用成分が、健康や長寿、美容などに効果があるとされ、注目度は急上昇。夏の暑さを涼しく健康的に乗り切るために、各家庭の冷蔵庫に常備したい、まろやかで緑が清々しいオリジナルの冷茶がおすすめ。

浜名園 茶茶テラス

高崎市中里見町 180-1 電話：027-374-2255

■営業時間 9:00～18:30

■無休



カフェでは煎茶や抹茶など、香り高い日本茶と、和菓子やあんみつなどのメニューがある。おにぎり 2 つとソーメン、数点の小鉢がつく「おにぎりセット」は、毎日限定 15 食 (要予約)。



第41回 高崎まつり

8月1日(土)・2日(日)

●高崎駅西口～もてなし広場周辺

大花火大会

8月1日(土) 午後7時40分～8時30分

●烏川和田橋上流河川敷

第13回 高崎山車まつり

8月1日(土)・2日(日)

●高崎中心市街地～もてなし広場



群馬県最大の夏祭り 山車と神輿と花火の競演

●七十万人超の来場者を誇る
高崎まつり

夏の風物詩高崎まつりが、今年も盛大に開催される。神輿渡御や阿波踊り、迫力満点の山車巡業や和太鼓など、様々な伝統芸能が中心市街地の至る所で披露される。毎年、多くの参加者で賑わう「創作だるまみこし」や「こども広場」などの企画も実施予定。

例年、七十万人超の来場者が訪れる高崎まつり。県下有数のイベントとして、今夏も大きく飛躍を遂げる。

●北関東最大級の大花火大会！

約一万五千発もの花火がテンポ良く一気に打ち上げられ、高崎のアツい夜空を彩る。言葉にできないほどの迫力と、いくつもの花火を組み合わせた華々しい演出は、観る人の心を惹きつけること間違いなし。

拡大された観覧場は打ち上げ場所に近いかもであり、文句なしの大迫力。夜空からふりそそぐ大きな花火は、他では体験できないほどの興奮と感動をもたらしてくれる。

●勇壮な姿に魅了される
高崎山車まつり

高崎まつりを盛大に盛り上げるため、輪番の北・中央地区から、総勢17町内の山車が勢揃いする。出発式の後、田町通りを連なつて山車巡行するその姿は、まさに豪華絢爛。山車まつりを象徴する光景のひとつとされている。巡行後は、もてなし広場に山車が再集結。夕暮れ時、提灯に灯りが点ると、昼間とは違った幻想的な山車まつりに変貌を遂げる。

●お問い合わせ：高崎まつり実行委員会事務局（高崎市商工観光部観光課内）TEL.027-321-1257

EVENT



第19回 高崎観音山万灯会

8月22日(土) 午後5時～9時30分

●観音山一帯で開催

1万を超える灯火が 観音山を幻想の世界に

夏の最後を締めくくる『高崎観音山万灯会』は、今年で19回目を迎える。観音通りの両端に、清水寺石段へと誘うように延々と灯明（カップローソク）が点される。そのまま石段を上ると、清水寺から平和塔広場、参道商店街から白衣大観音まで、一万数千個もの灯明と千基以上の灯籠が並べられ、山全体を美しく厳かに照らし出している。こうした荘厳な雰囲気の中、神仏に灯りをお供えして先祖供養や心願成就を祈念するのが万灯会である。

ぜひこの夜は、「観音山」の由来である清水の観音様への登山道・石段を、かつてと同じように歩いてお参りすることをオススメする。清澄な空気に包まれた晩夏の一夜は、幽玄の世界を体験できるひと時となるだろう。

※当日は、高崎駅から臨時ぐるりんバスが出る予定。

●お問い合わせ：高崎観音山万灯会実行委員会（慈眼院内）TEL.027-322-2269

The event of summer of Takasaki

9月5日(土)～13日(日) 子ども遊び週間

EVENT

高崎市城址公園周辺が子どもの国に！

メルヘンと遊びの世界展 19 ～見る・きく・あそぶ～

9月5日(土)～13日(日)

●高崎シティギャラリー 第3・4・5・6展示室



昨年の様子(野外イベント)

絵本原画、遊べるおもちゃの展示、
遊びのワークショップ

※9月11日(土)はアフタフ・バーバンによる野外イ
ベントを開催します。

※9月12日(土)～18(金)は「シネマテークたかさき」
で「学校」をテーマにしたドキュメンタリー映画を上映

●お問い合わせ：高崎市文化課
TEL.027-321-1203

おかあさんといっしょ ポコポッテイトがやってきた!!

9月5日(土) 1回目 午後1時15分開演
2回目 午後4時開演

●群馬音楽センター／全席指定1,800円
※公演時 1歳以上有料。1歳未満でも席が必要
であれば有料。



©NHK

「おかあさんといっしょ」の人気キャ
ラクターによる歌とダンスのステージ

●お問い合わせ：群馬音楽センター
TEL.027-322-4527

第20回 縁日広場

9月5日(土) 午後2時～午後8時
9月6日(日) 午前10時～午後3時

●高崎シティギャラリー ハローフォーラム



昨年の様子

多数の出店、歌・ダンスなどの
各種ステージイベント

●お問い合わせ：高崎市文化課
TEL.027-321-1203

たかさきこどもまつり(仮称)

9月5日(土)～13日(日)
午前10時～午後5時

●高崎市総合保健センター 2F



カラダもココロもよろこぶ
子どもの室内遊び空間が出現

●お問い合わせ：高崎市商工観光部観光課内
TEL.027-321-1257

高崎市消防隊総合訓練 ～親子でわくわく消防体験～

9月6日(日) 午前8時30分～正午

●もてなし広場(高崎市高松町)



多数の消防車両が集結し、消防隊の訓
練を披露。展示・体験ブースも設置

●お問い合わせ：消防局警防課
TEL.027-324-2216

栗コーダーカルテット コンサート

9月6日(日) 午後2時開演

●高崎シティギャラリー コアホール
全席指定 一般3,000円・中学生以下1,500円
※3歳未満の入場はご遠慮ください。



「ピタゴラスイッチ」でおなじみ
の4人組バンドによるコンサート

●お問い合わせ：高崎シティギャラリー
TEL.027-328-5050

Information

2015～2016 たかさき華の親善使節

1990年から始まり、今回で19代目となる「たかさき華の親善使節」の認定証交付式と新旧交代式が4月30日に市内のホテルにて行われた。高崎市の公式事業や観光事業などをPRする親善使節として観光協会から認定されたのは、写真左から、福田ゆみ香さん(ぐんまみらい信用組合)、小野澤志保さん(しのめ信用金庫)、伴みなみさん(高崎信用金庫)、江原やよいさん(東和銀行)、武田美香さん(群馬銀行)の5人で、式典では「地域の魅力を勉強して、積極的に高崎市のPR活動に励みたい」などの熱のこもった抱負を語った。

これから2年間、市民を代表する高崎の華として、高崎まつり、ふるさと祭り東京、首都圏で行われる各種キャンペーンなどで活動していく5名に乞うご期待！



●お問い合わせ
(一社) 高崎観光協会 TEL.027-330-5333

EVENT

ようこそ高崎 人情市

●7月26日(日)
(午前8時30分～午後3時)
会場：もてなし広場

●9月27日(日)
(午前8時30分～午後3時)
会場：もてなし広場

●お問い合わせ
事務局 NPO 法人高崎やる気堂
(高崎市剣崎町1348-1)
TEL.027-343-5130
FAX.027-340-7067
<http://ninjou.gunmablog.net/>



高崎の浮世風呂

昭和レトロな庶民文化を満喫できる



●浅草湯／成田町 36-3 電話 027-323-1745
午後2時から午後10時。火曜定休。駐車場10台。料金は大人（中学生以上）400円、中人（小学生）180円、小人（幼児）80円。石鹸やシャンプーは持参。使い切り用が販売されているので手ぶらでも可。

●高崎に残る庶民文化「銭湯」

「あなたは、もう、忘れたかしら」と「神田川」に唄われた所謂横丁の銭湯が、高崎市内に5軒残っている。それぞれの銭湯の屋号も味わい深い。住宅街の中に突き出た高い煙突が目印で、風呂のない家が多かった時代、夕方になると手桶に石鹸やシャンプー、タオルを首にひっかけて、下駄やサンダルで銭湯に出かけたものだ。

●宿場町高崎城下の浮世を映す「湯屋横丁」

本町一丁目の裏路地「湯屋横丁」と呼ばれる場所が、高崎の銭湯の発祥の地である。ここにはつい最近まで「成田湯支店湯」が残っていた。この

全国で最も古い!? 90年前の木造銭湯が健在

湯屋は今から300年前、宝永2年（1711）に始められ、高崎宿の名物となっていた。今のように毎日入れるわけではなく、毎月8日、14日などと、決められた日に身を清める意味から6日間営業するので「六斎湯」と呼ばれた。やがて城下に銭湯が増えて10軒となるが、その後政府が衛生向上のために奨励を始める。明治初年まで藩の許可が下りず新規の営業はできなかった。

初期の湯屋は下着を着けて入浴する混浴で、浴槽も大きな丸桶一つだった。これでは風紀を乱すということで、女は昼、男は夜などと時間が分けられた。花街柳川町の芸妓の姐さんたちが、夜のお座敷の前に湯に通う艶やかな姿はまるで錦絵のようで、高崎城下の浮世を映していたという。

●浅草湯は昭和初期に建てられた

現役銭湯

湯屋横丁の路地から、北に徒歩で5分ほどのところに大正時代に創業した「浅草湯」がたたずんでいる。創業時は現在の倍ほどの建屋で、2階は宴会場になっていた。浅草湯は昭和4年（1929）に火災にあい、再建する際に東京都内の銭湯を回って研究したそう、当時の下町銭湯の特徴となる豪華な寺社風の「宮造り」となって

いる。宮造りが流行したのは、関東大震災（大正12・1923）で被災した人々が、銭湯を極楽浄土や別天地へ誘う特別な場所として考えたためで、浅草湯には当時の建築様式が残っている。

入母屋造りの玄関を入ると、脱衣所の天井は2階ほどの高さまで吹き抜けた格子づくり。柱や梁は太く、男湯と女湯を仕切る壁には大きな鏡がはめ込まれている。浴室の窓や脱衣所から池のある和風庭園を眺められるのも当時のぜいたくで、まさに「極楽、極楽」である。

東京都内で最も古い木造建築の銭湯（今年5月に閉館）が昭和2年の建築であったことから、築80余年の浅草湯は、現役で営業する宮造り様式の銭湯として、全国でも大変貴重と言えるだろう。

銭湯にはゆったりとした懐かしい時間が流れている。桶を置く音が、銭湯独特の心地よい残響を伴って聞こえてくると、ノスタルジックな世界への小旅行が始まる。昭和レトロな高崎のまちなみを味わえる中央銀座商店街や高崎電気館などとともに、日々、市民に愛され続ける高崎の貴重な財産である。なお、銭湯や温泉でおなじみの黄色いケロリン桶は高崎市内のプラスチック工場で作られていることを付記しておきたい。



くだもの街道で 150 歳の梨樹に会う くだもの街道スイーツ巡り

■エリア詳細図

